



# 飯



# 南

いいなんじかん



# 時



# 環



飯南町一。ここは人と自然、  
笑顔と笑顔でつながるまち。

ここで過ごす時間は、  
魅力の環が広がり続ける「時環」となる。

疲れた心をホッと癒す  
「飯南時環」をあなたにも一。





人と人が  
つながる  
まちへ

## CONTENTS

プロローグ 飯南時環	2
自然と癒しがつながる 「森林セラピー」	4
自然とつながる 飯南観光	6
自然とご縁がつながる さとやまFOOD	8
時代をつなぐ 時の旅へ	10
人とまちが育み合う 飯南学	12



伝統と人が  
高めあい

暮らしを紡ぐ 支え合う田舎暮らし	14
ご縁でつながる 緑のまち	16
笑顔がつながる 飯南の「環」	18
総合振興計画 笑顔あふれる飯南町	20
まちの概要・町長あいさつ	22



自然と伝統が  
紡ぎあい

**飯南町位置図**  
島根県の中南部、広島県との境に位置しており、町面積の約9割を山林が占めています。



**魅力の環が  
広がるまち飯南町**

1000メートル級の山あいを抜けることだり着くこのまちには、かつてあたりまえだった里山の暮らしが今も根づいています。

澄み渡る空と色鮮やかな草木。まちを包み込む自然は、人々に恵みと四季折々の美しい姿を見せてくれます。

古くから大切に受け継がれてきた伝統芸能やしめ縄づくりは、昔から変わらない人情と情熱にあふれています。

人と自然の「輪」、人と人との「和」は、やがて一つの「環」となる。訪れる人の心をホッと癒してくれる「飯南時環」をあなたにも。

## 飯南時環

prologue

人と自然が  
語りあい



自然と癒しがつながる

# 「森林セラピー」

ふかふかの地面に、優しい木漏れ日、爽やかな風  
自然とともに生きてきたまちならではの極上の癒しがある



## 飯南町の 森林セラピー

2つ星認定



昔から人々は、自然に囲まれて暮らすことが、心身の疲労回復や癒しにつながると感覚的に知っていました。その効果が医学的・科学的に解明されたことにより、さらに効果の高い癒しを得られるプログラム、「森林セラピー」が行われるようになりました。

飯南町では平成18年に、山陰地方で初の森林浴効果の生理実験が行われ、森林総合研究所から、一定の癒しの効果があると認められました。飯南町の森林セラピーでは、見る、聴く、嗅ぐ、触る、味わう、といった五感を刺激することで、心身ともにリラックスできます。また、癒し効果をより感じられるよう、森林セラピーガイドがサポートし、健康増進・疾病予防をめざす取組も行っています。

飯南町の森林セラピー基地は、令和2年に全国で2例目の2つ星に認定され、トップクラスの質の高さを誇る森林セラピーを体験できます。



地面にはウッドチップを敷いており、足腰に負担がかりません。



## 夏におすすめ！ シャワークライミング

体験できる！

良質な冷たい清流に浸りながら、川を登り下りするシャワークライミングでは、

自然のウォータースライダーや滝壺へのダイブ、川に身を任せてゆったり流れるなど、さまざまな楽しみ方ができます。

澄んだ空気とマイナスイオンが、日頃の疲れやストレスを流してくれる、夏におすすめのアクティビティです。

## 森林セラピー拠点 森のホテルもりのす

別荘気分♪



豊かな緑のなかを進むと、まるで隠れ家のような、「森のホテルもりのす」があります。

森林セラピーの拠点となるだけでなく、キャンプをはじめ、奥出雲和牛と地元の新鮮食材が味わえるグリルスタイルダイナーなど、自然の中で贅沢な空間を味わえます。

標高約570メートルの山間に位置することから、空気が澄んでおり、街灯も少ないため、夏にはホテル、冬には星空と、大自然の絶景が楽しめます。



青空の下、のんびりと贅沢な時間を過ごせます。読書をしてよし、お昼寝をしてよし。過ごし方はあなた次第。

## Column 笑顔のヒミツ インタビュー



(一社)飯南町観光協会  
伊藤 和栄さん

## 好きなまちと、 森を守りながら

「多くの方にセラピーを体験してもらいたい」という思いを胸に、「このまちが好きな町内外のガイドのみなさんと、森を守ることを意識し、森林セラピーガイドに取り組んでいます。」

森林セラピーの魅力は、自然体で体験することで五感が研ぎ澄まされ、自己肯定感を満たせるようになることです。お客様さまやガイドの仲間、みんなが笑顔になることが、私自身のやりがいでもあります。

これからは町民のみなさんの健康づくりに活かしていただくことで、より地域に根ざした取組にしていきたいです。





### 古くから伝わる神楽

島根県西部の石見地方に伝わる石見神楽(いわみかぐら)と、県の無形民俗文化財に指定されている奥飯石神楽(おくいしのかぐら)の2つが伝承されています。石見神楽は、豪華絢爛な衣裳と表情豊かな面を身につけて舞い、奥飯石神楽は、出雲神楽の一種で、神事の要素を含んでいるのが特徴です。



### ことびきさん 琴引山

登山ルートが整備されているため、初心者でも安心して登れます。旧暦の10月、全国の神々が出雲へ集合する際、まず琴引山に降臨し、出雲大社に入ります。毎年秋分の日には、神々の降臨に先立ち、山を清める「神迎え神事」が山頂で行われています。



### 赤名半夏まつり

まち中が歩行者天国になり、たくさんの屋台が並ぶ飯南町の風物詩で、町民が集まって夏の一夜を楽しみます。

### 良質な温泉

その昔、武将も湯に浸かり傷を癒したという言い伝えのある名湯や、鉱泉水に大量の炭酸ガスを含む日本有数の炭酸泉などが楽しめます。



### 琴引フォレストパークスキー場

冬はキッズパークも併設した多様なコースでスキー・スノーボードが楽しめます。夏は付近で、キャンプやBBQなどのアウトドアが楽しめます。



### 赤名湿地性植物群落

県下最大のハンノキ林と、貴重な湿地性植物が特徴です。多種多様な動植物が共生・生息しており、四季折々の姿が見られます。



ハッチョウトンボ



サギソウ

**自然アクティビティと地域の伝統を楽しむ**  
飯南町には、ありのままの美しい自然と、その地域に伝承された伝統芸能が残っています。新緑の映える赤名湿地性植物群落ではハイキング、銀色の世界が広がる琴引山ではウインタースポーツが楽しめるなど、四季折々の自然を活かした観光コンテンツにあふれています。  
また、石見神楽や奥飯石神楽といった伝統芸能も受け継がれ、夏には中世の頃はじまったとされる半夏まつりが、銀山街道の残る赤名で催されます。  
他にも、疲れた体を癒す良質な温泉もあり、泊まりでの観光にぴったり。自然アクティビティと伝統文化が楽しめる飯南観光で、充実した時間を過ごせます。



# 自然とつながる 飯南観光

自然のなかで深呼吸して、伝統文化に感動する  
まちの魅力を存分に満喫しよう



**季節の花が楽しめる東三瓶フラワーバレー**  
春はポピー、秋はコスモスが咲き誇り、それに合わせて開催される祭では、露店が多く並び、地元の特産品を味わえます。ショーや抽選会などもあり、子どもから大人まで楽しめるイベントです。



飯南神楽団  
団長 田部 浩さん 娘 柚季さん

### 次世代につなぐ 飯南神楽

飯南神楽団は、神楽好きが集まってはじまり、今年で16周年を迎えます。私は、幼い頃から神楽が好きで、結成当初から仲間とともに、夢中になって稽古を続けてきました。今は、重たい衣装を着て舞うのが正直体に堪えます(笑)。でも、お客さんからの声援や「上手になったね」という言葉、温かい拍手を聞くと疲れも吹っ飛び、「次もよいものを作ろう!」と思えるんですよ。  
今は、高校生の神楽愛好会の指導も行っています。これからは彼らと一緒に、飯南町の神楽をもっと盛り上げていきたいですね。



### 赤来高原観光りんご園

9種のりんご、5種のブルーベリーが栽培されており、さまざまな品種を食べ比べできます。時間制限がないため、ゆっくりと果物狩りが楽しめます。



### 赤名観光ぼたん園

県内有数の栽培面積・本数を誇り、約2万5,000本のぼたんがお出迎え。無料で開放されており、表情豊かなぼたんが鑑賞できます。

自然とご縁がつなぐ

# さとやまFOOD



おおよろぎさん  
琴引山や大万木山に囲まれた高原地帯の澄んだ水と、寒暖差の激しい気候、  
自然の恵みをたっぷり受け、一つひとつ手間ひまかけて育てられた  
この土地ならではの濃厚な味わいを、どうぞ召し上がれ



## 安心安全を食卓へ

生まれも育ちも飯南町で、昔から農業に携わってきました。現在は、安心安全・減農薬のエコロジー米の生産に精力的に取り組んでいます。昼夜の寒暖の差が大きいこの地域のお米は、粘り気が強く、炊きたてはもちろん、冷めても美味しいので、お弁当にも最適なんです。

最近では、品質のよさから、町内外の多くの方々に食べてもらえるようになりました。これからも安心して食べられるお米づくりを続けていきたいですね。



飯南町エコロジー米生産推進協議会  
会長 和田 幹雄さん



## 香り高い琴引舞茸

地元を離れ、ご縁があつてこのまちに越してきました。琴引舞茸は、一口食べたら分かるほど香り高いのが特徴で、天ぷらにすると絶品です。  
生き物を育てるのはとても難しく、思った通りにいかないこともたくさんありましたが、失敗と改善を繰り返して、よりよい舞茸を生産してきました。  
先代から受け継いだ技術を次の世代へと引き継ぎながら、もっと多くの人に琴引舞茸の魅力を知ってもらい、笑顔の輪を広げていきたいですね。



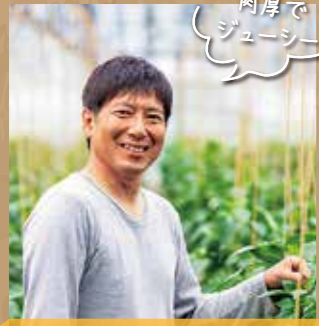
飯石森林組合舞茸センター  
工場長 石田 宏治さん



## 肉厚で甘さがウリ

新規就農者の制度や、サポートが充実していたため、移住しました。一つひとつが大きく高品質になるよう、間引きに気をつけて育てているので、肉厚で果汁が多く、強い甘みがあるのが特徴です。出荷できない小さなものなどは、鮮やかな色を活かしてドレッシングに加工し、販売しています。

パプリカの「こ機嫌同い」はとても難しく、毎日が一年生です(笑)。これからも、美味しいパプリカを育てながら、このまちを盛り上げていきたいです。



中野あおぞら農園  
中野 良介さん



## 甘く、コクのある味わい

酪農に興味があつて飯南町に移住し、その後、農家に嫁ぎました。  
奥出雲和牛は、しっかりした風味、コクと甘みの特徴です。牛の健康状態はすぐに身体に出てしまうため、病気をしないように体調管理に気をつけて飼育し、牛の月齢によって与える餌も工夫しています。  
これからも、「大塚家の牛だったら間違いない!」と思ってもらえるよう、夫婦で力を合わせて元気な牛を育てていきたいです。



和牛農家  
大塚 明日美さん 雄嗣さん



## 恵みを受けた「森の絹」

生まれ育ったまちで、サツマイモづくりをしてきました。飯南町ブランドのサツマイモ「森の絹」は、この土地の豊かな恵みを受けて育つため、粘り気が強く、とても甘いのが特徴です。道の駅とんぼらにあるカフェ「ラムネMILK堂」では、サツマイモのほかに、地元食材を使った焼きドーナツやアイスなどを提供しています。  
これからも、地元食材のよさを発信したいですし、カフェが地域の人たちのよりどころになれば嬉しいです。



ラムネMILK堂  
本田 裕基さん



## 思い出もお土産に

地元に戻って来てからご縁があり、りんご農家になりました。飯南町の雄大な自然が、美味しいりんごを育ててくれる。そのお手伝いをするような気持ちで、日々手入れをしています。りんごジュースやジャムなどの加工品販売のほかに、時間無制限のりんご狩りも行っており、品種ごとに味の違いも楽しんでいただけます。  
美味しいだけでなく、私やスタッフと話した楽しい思い出も持ち帰ってもらえるりんご園であり続けたいです。



赤来高原観光りんご園  
(株)SBN代表 中岡 啓さん

Column  
笑顔のヒミツ  
インタビュー



ミセス・ロビンフッド  
国際薬膳食育士 宮脇 多太恵さん

## 自然への感謝を手料理に

結婚をきっかけに飯南町にやってきました。最初は自然の厳しさに驚きましたが、そのなかで、私自身が自然に力をもたらしていることに気づきました。そこで、「自然への感謝の気持ち」と、このまちの自然の素晴らしさを伝えるなら薬膳しかない!」と思い、高原野菜をたくさん使った薬膳料理のレストランをはじめました。

お客さまには飯南町の旬の食材を提供しています。食べて元気になってもらい、お店から見える四季折々の美しい景色にも癒されてほしいです。ここに来たら、いつもと違うまちの魅力を発見できますよ。





日本最大級

# 大しめ縄

地域の人々と作り上げる  
日本一の大しめ縄

日本最大級といわれる大しめ縄は、長さ13.6メートル、重さ5.2トンもあり、昭和30年代から数年ごとに出雲大社神楽殿に奉納されてきました。その高い技術と伝統は今なお受け継がれています。

しめ縄づくりは、町民による赤穂もちの田植えからはじまり、実入りしない時期に刈られ、乾燥保存されます。その後、稲ワラは、調整・選別、束ねられ、しめ縄の元となる「中芯」と、中芯を包む「コモ」が作られます。中芯がコモに包まれた後に、大しめ縄に取りつける円錐型の「しめの子」が作られます。最後に、「大撚り合わせ」が町民により行われ、大しめ縄が完成します。

飯南町では、飯南町注連縄企業組合が主体となって、出雲大社や、社寺などのしめ縄制作・奉納を行っています。全て手作業で、稲ワラは町内産を使用するなど、まち全体で力を合わせて制作しています。



最後の「大撚り合わせ」は、昔から地域の人々が力を合わせて行ってきました。地域の人々の手によって、「中芯」に「コモ」が巻きつけられることで、美しい表面のしめ縄が出来上がります。季節や天候、湿度などで微妙に変わるワラの質感を、長年培った手の感覚で感じ取り、均一になるように編んでいきます。

**日本一の大しめ縄を次の世代に**

大しめなわ創作館では、職人や地元の方々が「一つひとつ想いを込めてしめ縄を制作しています。館内には、迫力ある実寸大の「しめの子」をはじめ、さまざまな種類のしめ縄や、その歴史に関する資料を豊富に展示しています。

しめ縄づくりの面白いところは、「一つとして同じものができないところ。また、神棚をはじめ、壁掛けやストラップなど、生活に溶け込めるのも魅力のひとつですね。

日本一の大しめ縄を作っている飯南町の誇りと伝統を次の世代へと受け継いでいきたいです。

飯南町注連縄企業組合  
専務理事 那須 久司さん

## 原始から古代



▲長者原(ちょうじゃばら)古墳(町指定文化財)  
五明田(ごみょうだ)遺跡縄文土器(町指定文化財)



▲土偶(下山遺跡出土)



◀出雲國風土記(日御碕神社本)



飯南町に人が住みはじめた時期は定かではありませんが、三瓶山麓の縄文遺跡からは今からおよそ1万年前の土器が出土し、神戸川と中国山地の恵みによって暮らしていた人々の痕跡を示しています。飯南町の遺跡からも石包丁や鉄製の鎌が出土し、稲作が日本列島に広がっていった弥生時代、この地域でも米作りが行われていたことが分かっています。奈良時代に成立した「出雲國風土記」は、飯南町に関する最も古い文献資料です。

## 近世



◀▲銀山街道の道標と石碑

江戸時代になると、銀の輸送は陸路が主となり、島根県大田市大森から広島県尾道市までの銀山街道が成立しました。街道が通過する赤名宿と周辺の村々には、銀・銅を次の宿場まで運ぶ役割が課され、負担軽減を求める訴えがたびたび起こりました。

現在も、赤名宿には石見銀山の道標が残っており、積雪の時期に銀の運搬が行われた赤名峠には石碑が建てられています。

# 時代をつなぐ 時の旅へ

自然が人々に生きる術を与え、人々は歴史をつないできた。その歴史は、時を越えて現代へと受け継がれている。

## 中世



▲赤穴瀬戸山城(近世初頭の復元イラスト)  
イラスト：香川元太郎/「歴史群像」2020年10月号初出(ワン・パブリッシング刊)

飯南町は、かつて出雲国、石見国、備後国の三国にまたがる国境であり、交通の要衝として、また出雲国への入り口として重要視されていました。そのため、戦国時代には、たびたび大内氏、毛利氏、尼子氏などの勢力争いの戦場と化しました。大内氏の出雲遠征の際には、瀬戸山城を舞台に攻防戦が繰り広げられました。

現在、城址には登山道を整備しており、石垣や土塁などを確認できます。

## 近現代

江戸時代から明治時代にかけて、この地域の重要な産業の一つが製鉄業であり、たたら製鉄が大規模に行われました。山々を切り崩し砂鉄を採集するための「鉄穴流し」の名残が、今もまちの至所に残っています。他にも、寒い地域ならではのワラを編んだ積雪期の民具などは、今でも大切に保存・展示されています。

明治、昭和になると村が合併を繰り返し、平成17年には、当時の赤来町と頓原町が合併し、現在の飯南町が発足しました。



▲高殿たたら地下構造(弓谷遺跡) ▲奥飯石及び周辺地域の積雪期用具(国指定民俗文化財)

# 人とまちが育み合う 飯南学

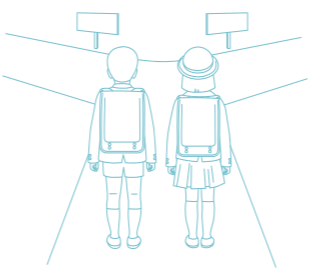
人が輝くことで、このまちが輝く  
その環が広がり、巡る飯南町は、  
人が育ち、つながり、新たな価値が生まれる場所



1・2 地域の人と世代を越えて交流を深め、地元の自然や伝統に触れながら学びを深めていきます。  
3 「キャリア・パスポート」を活用し、子どもたちの成長につなげます。

## 飯南学02

### キャリアパスポート



保小中高一貫教育を進めており、保育所から高等学校まで、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫した「飯南町キャリア・パスポート」を活用しています。保育所・学校・家庭・地域で学んだことが、子どもたちの「生き抜く力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。「飯南町キャリア・パスポート」には、そうしたい願いを込めています。

## 飯南学03

### 県立飯南高等学校 「生命地域学」



飯南高等学校には、東京・大阪をはじめとする全国各地の中学校から生徒が集まっています。刺激しあえる仲間とともに、自らの将来や地域の今後を考えて、多様な資源に興味関心を持つことで、他者と協働する力を身に付けます。まち全体が学びのフィールドとなり、課題形成・解決能力をはじめとした、生きる上で大切な、さまざまな力を育成しています。



#### 活動ポイント

グループでの体験活動や話し合いを多く取り入れている生命地域学。他者と協働することで、自らの意見を相手に分かりやすく伝えるための発信力を身に付けます。また、異なる意見を受け入れることで、生徒の価値観を広げます。



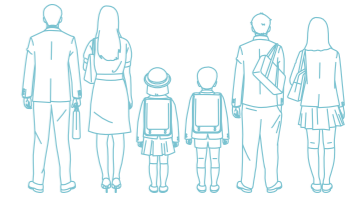
中山間地域ならではの資源を活かし、学びを深めます。(写真：赤名湿地帯の探索)



地域の課題と具体的な解決策を自ら考え、行動につなげます。(写真：地元企業と開発したパブリカジャムを販売する生徒)

## 飯南学01

### 地域づくり は 人づくりから



まち全体が学びの場であり、町民が主役の飯南町。だからこそ、人づくりにフォーカスを当てた「飯南町人材育成アクションプラン」や「飯南町人材育成基本方針」といった計画に基づいて、町民が一体となって、まちづくりを進めています。考え方のプロセスを学び、対話力・解釈力を身に付けたり、まちの魅力を発見・発信したりする「共創デザインスタジオ」「ヒトカラーhitocolororyイノベーション」をはじめ、まち独自の取組イベントに、多くの町民が参加しています。



はじめは「耳を澄ませて聴く」こと。町民が集まり、対話することで、ヒト・モノ・コトがつながり、新たなアイデアが生まれます。

### 地域で育てる 飯南式教育

飯南高等学校は「生徒の主体性」を大切にしています。「鵬雲祭」(学園祭)などの学校行事の運営を生徒が行うだけでなく、「生命地域学」などの授業でも、生徒が主体的に飯南町の課題解決に取り組んでいます。これらは、地域のみなさんの協力があつてこそ取組です。

魅力化コーディネーターとして高校と地域をつなげたり、生徒と活動したりするなかで、生徒が成長する機会は校内だけでなく、地域にもあると思っています。教職員だけでなく地域のみなさんも背中を押してくれる学校で生徒の「主体性」を育みます。



飯南高等学校 魅力化コーディネーター  
三島 啓太 主任



暮らしを紡ぐ

# 支え合う 田舎暮らし



小さなまちだからこそ、  
一人ひとりに優しく、  
よりそったまちづくりを

人口5000人に満たないこのまちは、日々の何気ない暮らしを大切に  
するまち。まちに住む全ての人々に対して、充実した支援制度が  
整っており、子どもから高齢の方まで安心して暮らせます。また、子育て  
支援をはじめ、住宅補助や助成金、定住支援センターによるサポートな  
ど、移住定住の促進にも精力的に取り組んでいます。  
地域の人が、まち全体で互いの暮らしを支え合って生きていくこ  
とで、このまちの暮らしを紡いできました。豊かな自然のなかで四季を  
感じながら、人と人が暮らしを紡ぐ生活を送ってみませんか。

中国エリア  
総合部門も  
1位!

Point:01

## 「住みたい田舎」ベストランキング 子育て世代が住みたい田舎部門 全国1位獲得

15歳以下※の子どもの医療費全額免除や保  
育料の完全無償化など、さまざまな支援制度  
を設け、子育て環境の充実に取り組んでいま  
す。また、子どもたちの成長を見守りながら、  
地域が一体となった教育を推進しています。  
※令和3年10月から18歳以下



Point:02

## セミオーダーができる 定住促進 賃貸住宅

素敵な家と  
よい環境での  
子育て!



入居者の希望にそってセミオーダーできる  
定住促進賃貸住宅をはじめ、就農希望者向  
けのシェアハウスや、1日から1ヶ月程度で利  
用可能な移住体験住宅など、移住希望者の  
ニーズに応じた住宅を確保しています。

Point:03

## 町民に愛され信頼される医療機関 飯南病院

安心の  
医療体制!



病院と診療所があり、人々の健康的な暮らし  
を支えています。地域包括医療・ケアをめざ  
し、在宅療養支援にも力を注いでいます。

### 【診療科】

内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、  
眼科、心療内科、精神科、歯科口腔外科、リ  
ハビリテーション科

Point:04

## まちをあげて全面バックアップ 飯南町定住 支援センター

私たちが  
サポート  
します!



仕事や暮らしのことなど、何でも気軽に相談で  
きる窓口を設置しています。支援制度の紹介や  
移住定住を全面的にバックアップしています。

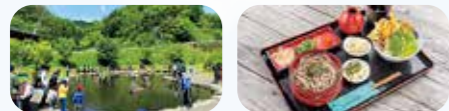
### 【主な定住施策】

・無料職業紹介所の開設 ・お試し暮らし住宅  
・農林業定住研修制度 ・空き家バンク など

Point:05

## 滞在型市民農園 志都の里 クライנגルテン

ちょうどいい  
田舎暮らし



週末や長期休暇に都会を離れ、地元の人々と  
交流しながら、マイペースに農園生活を満喫で  
きます。周辺には、ヤマメ釣りのできる釣り堀  
や、手打ちそばを楽しめるうぐいす茶屋があり、  
のんびりと田舎暮らしを楽しめます。

Point:06

## 移住定住のための 助成金制度

### 【主な助成金制度】

- ・住宅整備助成金(個人)
- ・社宅整備助成金
- ・空き家改修助成金
- ・空き家片付け助成金
- ・町外通勤助成金
- ・同窓会郵券代助成
- ・民泊開業推進助成金
- ・Uターン推進集落支援助成金
- ・就業支度金支給

詳しくは  
HPへ!

空き家所有者や入居希望者、雇用する事業  
者などが活用できる制度や、集落への助成  
金もあり、人々の暮らしに役立っています。同  
窓会郵券代助成といった人のつながりを大  
切にできるような助成も行っています。



ご縁でつながる

# 縁のまち



まちにあふれている、飯南町と人々をつなぐ不思議なご縁  
そのご縁で結ばれた移住者の方々が語る、まちの魅力をのぞいてみよう

地元の人と移住者をつなげたい



■東京都>>>飯南町頓原  
森のホテル もりのす  
田中 稔さん

## 自然、食材、人材の宝庫のまち

ブライダルの仕事に勤めていたこともあり、縁結びの地である島根県に惹かれて移住しました。最初は、田舎の環境に戸惑うこともありましたが、地域の集まりに積極的に関わることで、地域に馴染むことができ、人と人の関わりを通してコミュニティの大切さを知ることができました。

飯南町は、自然、食材、人材の宝庫です。豊かな自然のなか、子どもをのびのびと育てられ、アイデア次第で毎日を存分に楽しむことができます。私が勤めている「森のホテル」も「す」では、そんな地元のよさをお客さまに丁寧に伝えることを心がけています。これからは、移住者と地元の方が密に関われるようなネットワーク作りをし、まちの人のよいところを引き出していきたいですね。



▲飯南町を満喫できるホテル  
趣のあるラウンジでは、夜もゆっくりとくつろぐことができます。一步外に出ると、満点の星空や川辺のホテルなど、飯南町の豊かな自然を満喫できます。

## ちようどよくて優しいまち

農業をするため、島根県に移住してきました。飯南町は、リースハウスや、研修の制度など、新規就農者に優しい制度が充実していたので、安心して農業をはじめられました。まちの規模が



針と糸をずっと触って暮らしたい

飯南町では、移住定住支援や、起業向け支援など各種支援制度が充実しており、移住してきた方が、いきいきと暮らすことができる基盤が整っています。これまで飯南町に移住してきた方々は、それぞれの思いを胸に、さまざまなご縁

ちようどよく、集まりやすいことから、新規就農者同士の交流も活発で、お互いの作業の手伝いや情報交換ができています。住みはじめてからも役場の方から手厚いサポートをしてもらえて、とても安心して移住してまもなく、地域の集まりにも

誘っていただき、まちの方々には優しく迎え入れてもらいました。色々と心配もしていたが、地域に馴染むことができました。これからこのまちで、自分たちのやりたい農業を通して、まちの元気につなげていきたいなと思っています。



▲充実した研修制度  
新規就農者として一人立ちをする前に、数年の農業研修が受けられるので、初心者でも安心して農業をはじめられます。研修を通して、生産技術の向上もできます。

毎日充実した日々を送れる



■茨城県>>>飯南町野営  
澤島 旭さん ひかるさん

## 人のつながりと技術にあふれたまち

「服を作る仕事がしたい」という思いを胸に移住フェアに参加した時に、とても丁寧に対応してくれた役場の方や、地域おこし協力隊の可能性に惹かれ、移住しました。協力隊としてあたたかい人間関係に触れ、地域の方から多くのことを学ぶことができました。また、ファミリーサポートセンターや、支援



■大阪府>>>飯南町志津見  
Aoi needle work  
山本 かおりさん

があつて、この地に越してきました。飯南町にあふれる不思議なご縁は、人と自然、人と人とのつながりを大切にするまちだからこそつながるご縁。少しだけ紐解くと、そこにはまちを愛する、あたたかい思いがあふれていました。

制度を利用することで、仕事と子育ての両立もできています。起業向けの支援も活用でき、挑戦を受け入れてくれる環境に、とても助けられました。このまちには、素晴らしい自然、食といった地域資源や、人のつながりを土台に、この地で培われた技術があふれています。その資源や技術を活かし、このまちにしかないものをみなさんに伝えることで、次の世代につなげていきたいです。



▲素材も飯南町産  
飯南町で採れた果物や樹木を活かした質のよい生地を使い、じっくりと時間をかけて、一人ひとりに合ったものを縫製しています。

PR動画を作るための

# 3 Step

をご紹介します！

## みんなで作る 飯南町PR動画

Step 1  
2

### 実際に撮影へ！

日常の風景や、お気に入りの景色を撮影。いつもは気づかないようなまちの素敵なところがたくさん見えてきました！

### 魅力の洗い出し

みんなで意見を出し合ってまちの魅力の洗い出し。魅力的なヒト・モノ・コトは、身近にあふれていました。

地元の魅力を振り返り！



撮影のコツもプロから学びました！

### 振り返り & 撮影会

これまでの活動を振り返り、感想を共有しました。最後に、「夏」をテーマにした写真撮影に挑戦し、さらなるスキルアップにつなげました！

もっと飯南町が好きになった！



飯南町の風景はキレイだなあ！

動画班と記事班合同で振り返り & 撮影会をしました！

各々が見た飯南町の魅力がたくさん集まってきました！

みんなで集めた動画が1つに！



QRコードを読み取ってご覧ください！

## PR動画完成



私たちが学びました！



笑顔がつながる

# 飯南の「環」

コラボ企画！

イイナンデザインキッチン

まちのみんなが集まって、学んだ先に見えてきたのは  
まちにあふれる、たくさんの魅力たち

### イイナンデザインキッチン × 町勢要覧

令和3年春。飯南町のヒト・モノ・コトを題材に、取材・執筆や動画の撮影方法、SNS発信の方法を学ぶ全3回の講座を開催しました。その名も、「イイナンデザインキッチン」想いが届く伝え方を学ぶ。そして、時を同じくして進んでいたのが、飯南町の魅力を町内外に発信する本冊子、町勢要覧の制作でした。

### 想いが届く伝え方を学ぶ

この講座には、飯南町が大好きな人たちが参加。記事班、動画班に分かれて、町勢要覧のインタビュー記事の執筆と写真撮影、まちの魅力を発信する動画の素材集めに取り組みました。

1、2回目の講座では、取材や、写真・動画撮影のコツを学びました。はじめて聞くプロの話に、参加者はみな、興味津々。一言一句逃さないようにメモをとって、実践へと備えていきました。

そして、いざ実践。記事班は、取材候補者選びから、取材と写真撮影に挑戦し、

### 学びから魅力の発信へ

町民のみなさんが力を合わせて、取材、執筆を行った記事が、町勢要覧の一部となり、集めてきた素材が、一つの動画になったことで、まちの魅力を余すことなく発信できる作品が出来上がりました。人が育ち、つながり、新たな価値が生まれる飯南町だからこそ実現できたコラボレーション。想いが届く伝え方を学んだ町民のみなさんが、今後どんな飯南町の魅力を発信してくれるのか、期待に胸が膨らみます。

動画班は、飯南町ならではの日々の風景を集めていきました。そのなかで、まちを盛り上げていく人たちの魅力に出会い、いつもは見逃していた美しい景色を見つけることができました。

3回目の講座では、これまでの活動を振り返り、「夏」をテーマにした写真撮影、SNS発信方法を学びました。



田部浩さん取材 ▶ P7へ



山本かおりさん取材 ▶ P16、17へ



伊藤和栄さん取材 ▶ P5へ



宮脇多太恵さん取材 ▶ P9へ



# 笑顔あふれる 飯南町

10年後にも  
笑顔あふれるまちを目指して  
私たちは地域の力で  
様々な課題を乗り越え  
安心して暮らせるまちをつくりまします。

囃子の音色  
ピカピカのお米に漬物、煮しめ  
しめ縄の準備  
雪の日の温泉  
芽吹いた山菜の緑  
ポピーの花々  
ひんやりとした森の散歩道

思い出すと笑顔になる飯南町の宝物を  
私たちは次の世代に残していきます。

町民の笑顔に人が集まり  
集まった人が笑顔になる  
笑顔のリレーを  
10年後につないでいきます。



政策分野1：自治・協働

## 住民が主役の協働の まちづくりを進める

まちづくりの主役は住民であることから、住民が主体的にまちづくりに関わる自治・協働の仕組みづくりに取り組みます。住民間での対話や住民と行政との対話を重視し、まちづくりの担い手として活躍できる人材育成を推進します。



政策分野2：教育・文化・子育て

## 飯南から世界を舞台に活躍できる 人材を育てる

学校と家庭、地域が協力し、豊かな人間性を育むとともに、郷土愛を醸成します。また、生涯学習の充実を図り、心身ともに健康な「人づくり」に取り組みます。地域ぐるみでの子育て環境の充実、魅力化を推進し、切れ目のない支援を行います。



政策分野6：自然環境

## 豊かな自然を 守り生かす



自然環境を生かした観光振興、魅力ある教育の推進など、豊かな自然を「守り」そして「生かす」、保全と活用を相互に連携した取組を推進します。優れた自然環境を次世代につなげていくため、自然環境保護の担い手の確保と育成を行い、自然環境の保全を推進します。



政策分野3：産業

## 誇れる産業を創出し、 飯南町のブランド力を 高める



「日本一の大しめ縄のまち飯南町」の知名度向上のため、全国へ発信します。また、産業の販路拡大を実践し、町外へ発信を進め、産業の活性化と次世代の担い手を確保します。医療や福祉とも連携した「観光」などの産業化に取り組みます。

政策分野5：生活環境

## 安心して生活できる 快適な環境をめざす

人口減少を課題として、Uターン者の受け入れと、住みやすい生活環境の整備をし、住民満足度の向上をめざします。また、地域の実情に合わせた拠点の整備、生活支援、防災減災対策の充実を推進します。教育・医療・介護などの分野での高速通信網の活用を推進します。



政策分野4：保健・医療・介護・福祉

## 地域の力ですべての住民の 健康と長寿をめざす

保健・医療・介護・福祉のすべてにおいて相談や支援する体制づくりに取り組み、住民の健康・長寿、地域福祉の充実を図ります。障がいのある人の自立促進や居場所づくりを推進し、地域包括医療、ケア体制の構築を推進します。



笑顔あふれるまちをめざして  
飯南町総合振興計画とは、住民と行政、企業団体が協働して取り組むさまざまな施策や事業を記載した飯南町の最上位の計画です。計画には、学生、子育て世代、働き盛りや高齢者まで幅広い年代へのアンケート調査や、企業・団体の方のヒアリングなど、たくさんの方の意見を盛り込んでいます。

専門用語を減らし、わかりやすい説明も入れているので、若い方でも読みやすい冊子となっています。計画をしっかりと実行し、飯南町の文化や食、豊かな自然と四季を守り、「笑顔あふれるまち 飯南町」を作っていきます。



飯南町役場  
三島 光暁 主幹

Column  
笑顔のヒミツ  
インタビュー

# 笑顔あふれる まちづくりをめざして

飯南町は、島根県の中南部に位置し、1,000メートル級の山々に囲まれた美しい里山と、源流の清らかな水に彩られた「生命地域」です。西日本では有数の豪雪地帯で、四季の移り変わりを強く感じることができます。

平成の大合併で誕生した飯南町も早や16歳(令和3年1月現在)となり、あっという間に高校生になりましたが、その分年月も過ぎたため、高齢化率も45%と高くなりました。人口は、自然動態では減少していますが、社会動態では微増傾向にあり、毎年人口の1%となる40から50人がUターンをして、飯南町に住みはじめてきています。これまで、まちの最重要課題として取り組んできた定住施策の成果と言えます。

都会から田舎に移住する際に読まれる「田舎暮らしの

本」では、全国240のまちがエントリーした「町の部」の、住みたい田舎ベストランキングで、飯南町は「若者世代が住みたい田舎部門」と「子育て世代が住みたい田舎部門」、「総合部門」で、第1位の3冠を獲得しました。

どうしたら移住する人にとって「住みたいまち」になれるのか、また、移住後に「住んで良かった」、「住み続けたい」と思ってもらえるのか、常にこうした視点でさまざまな施策を考えています。

自分のやりたいことが実現でき、あなたに合う生活スタイルが、飯南町にはあるはずですよ。

日本の原風景が残り、癒しの空間でゆったりと過ごすことができるまち、飯南町へぜひお越しください。やさしい人、豊かな自然、美味しい食でおもてないたします。

## 飯南町長 塚原 隆昭

Takaaki Tsukahara



### 自然と沿革

飯南町は島根県中南部にあり、広島県との県境、中国山地の脊梁部に位置しています。1,000メートル前後の琴引山や大万木山などに囲まれ、平坦地の標高が約450メートルある県下でも代表的な高原地帯です。また、まちの中心にある琴引山は、出雲国風

土記にその名をとどめ、悠久の歴史をうかがい知ることができます。また、出雲・石見・備後の三国にまたがっていたため、山陰・山陽を結ぶ中国山地の要衝として古くから開発され、たたら製鉄や良質な米の産地としても知られていました。

### まちのシンボル



【町章】

飯南町の頭文字である「I」(人間)をモチーフに、赤来と頓原のまちがしっかりと腕を組み、和と団結を図るとともに、自然と人間味のあふれるみずみずしい「いのち彩る里」を作っていくこととする姿勢を表しています。



【町の木：ブナ】

大万木山や女亀山(めんがめやま)などに見られる県下有数のブナ林。四季折々の美しい表情を見せてくれるブナが、大空に向かって雄々しく逞しく伸びゆく姿はまちの未来を表しています。



【町の花：ぼたん】

澄みわたる空に向かって、豊かな大輪の花を咲かせるぼたん。家庭でも育てやすい親しみやすい花で、高原ならではの色映えも美しく、まちの内外でも多くの愛好家が育てています。

### まちへのアクセス



#### おすすめ

- 車でお越しの方
  - 【広島方面から】中国自動車道三次IC-国道54号へ入り松江方面へ約30分
  - 【松江方面から】松江自動車道吉田掛合IC-国道54号へ入り広島方面へ約30分
- 電車・バスでお越しの方
  - ・JR三次駅(広島県)-バスで約50分
  - ・JR松江駅-たたらば舌番地まで高速バスで約1時間、たたらば舌番地からバスで約1時間
  - ・JR出雲市駅-たたらば舌番地まで高速バスで約45分、たたらば舌番地からバスで約1時間
- 飛行機でお越しの方
  - ・出雲空港-JR出雲市駅まで空港連絡バスで約25分、JR出雲市駅-たたらば舌番地まで高速バスで約45分、たたらば舌番地からバスで約1時間

# 飯 南 時 環

---

発行年月／令和3年8月  
発行／飯南町まちづくり推進課  
〒690-3513  
島根県飯石郡  
飯南町下赤名880番地  
TEL:0854-76-2864  
FAX:0854-76-3943  
制作／(株)ジャパンインター  
ナショナル総合研究所